

東京三栄会は連結経営重視を打ち出す三井物産の関係会社の会として1979年に設立されました。本シリーズでは「三栄会版プロジェクトX」と銘打って、メンバー企業で活躍する皆さんの「挑戦と変革の物語」を描くことで、今、新たなチャレンジを迫られている三井物産と東京三栄会各社の社員に向け「挑戦への勇気」を伝えていきます。

お問い合わせ先：業務統括部総括室 / ☎7569
東京三栄会ホームページ：http://www.san-eikai.or.jp

加工技術のコーディネートからOEMまで、 老舗エンジニア集団として、お客さまを全面的にサポート

川崎勝郎 さん 佐渡島金属(株)取締役クリンタイル建材事業部長
矢倉義央 さん 佐渡島金属(株)加工品部長

“物づくりの町”大阪で 鉄鋼・非鉄金属卸売業を展開

佐渡島金属(株)は、大阪で創業60年以上の歴史を有する会社で構成された「大阪のれん百年会」のメンバーで、創業百二十九年目を迎える老舗です。創業時から大阪で鉄鋼・非鉄金属卸売業として事業を展開。一九七九年に三井物産の増資引き受けにより関係会社となり、現在は三井物産非鉄販売(株)の子会社となっています。

同社は、三井物産を軸に三井グループと密接な関係を築きながら、銅・亜鉛・伸銅品を中心とする非鉄



左から、佐渡島金属(株)の川崎さん、山本社長、矢倉さん

素材分野で、近代産業の勃興・発展と軌を一にして成長してきました。今や、非鉄素材にかかわらず、顧客が抱える問題を解決する専門家エンジニア集団として新たな価値創造に向かつて邁進しています。

ニッチ分野に狙いを定めた ビジネスモデルの構築を推進

今回は、同社の加工品部門の新たなビジネスモデルと雨でも滑らない施設用床タイルの開発について紹介します。加工品部の矢倉部長は、「これまでの流通商社というメーカー軸足から脱皮して、エンジニア商社としてユーザー軸定の営業を展開しています。経験豊富な営業マンが品質保証グループと共同で、お客さまの開発や製造をサポート、設計段階から参画し、素材の調達から工程設計、加工供給までを行っています。部門独自に品質検査機能がありますから、品質やコストを十分に考慮しながら、お客さまのニーズがどこにあるのかを的確にとらえて提案

し、最適な製品供給のためにコーディネートしていく。単なる流通機能ではなく、エンジニアリング機能を駆使してお客さまに新たな価値を提供していくものです。お客さま企業としては、これまで調達担当者が多くの下請企業に部品を細かく発注していたものを、同様に頼めば一発で必要なものを入力、さらに設計図をそのまま渡せば製造の仕方なども考えてくれるという大きなメリットがあります。同社ではニッチの分野に狙いを定め、新しいビジネスモデルの構築を図りました。

もともと、大阪は零細企業が多く、伝統ある「物づくりの町」。特に、同社が地盤とする東大阪地区には、優れた技術とノウハウを持つ中小の加工会社が数多くあります。これら企業と協力・連携して、顧客のニーズに最適な製品を供給する中で、大阪の「物づくりの復権」を目指しています。

次に「雨でも滑らない施設用床タイル」の開発について、クリン

タイル建材事業部の川崎取締役部長は、「当社は公共施設などの床材として、クリンタイルというブランドで四十年以上の実績を誇ります。大半が駅舎関係で、これまで雨の日の滑り止めとして、目荒らしにするか凸凹をつけるのが一般的でしたが、バリアフリーや清掃面などで問題がありました。このたび開発したクリンノンスキッドストーンは、表面がフラットな研磨製品でありながら、滑り止めの効果が大きい平板です。市場での評判も良く、今後期待できる商品として、販路拡大に努めていきます」と、熱く抱負を語りました。

最後に、同席の山本同社社長は、「加工品部の新たなビジネスモデルで関東圏に進出中です。さらなる飛躍を期して、三井物産グループに働き掛けています。非鉄金属にこだわらず、何でも相談ください」とグループ間のシナジー効果を強調しました。

(リポーター：東京三栄会広報委員長・

三井物産ハウステクノ(株)安藤康綱)